BankART**Life**VI

# 「都市への挿入」

# 川俣 正

*Insertion into City Life*

Tadashi KAWAMATA

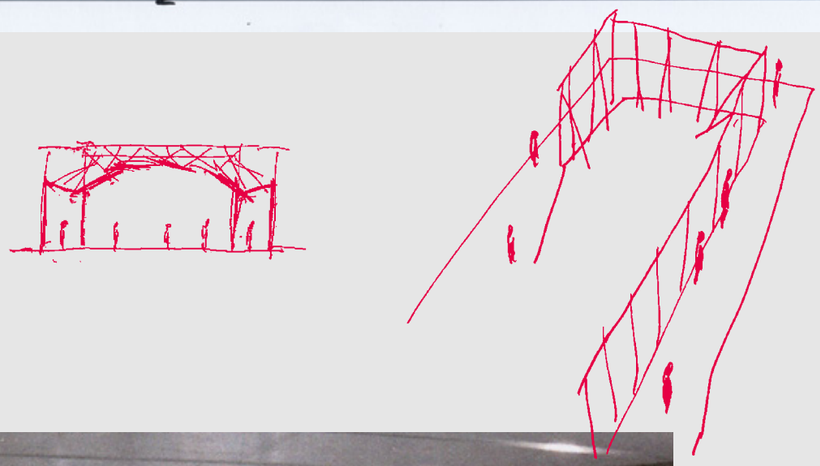
**2020.9.11** FRI – **10.11** SUN

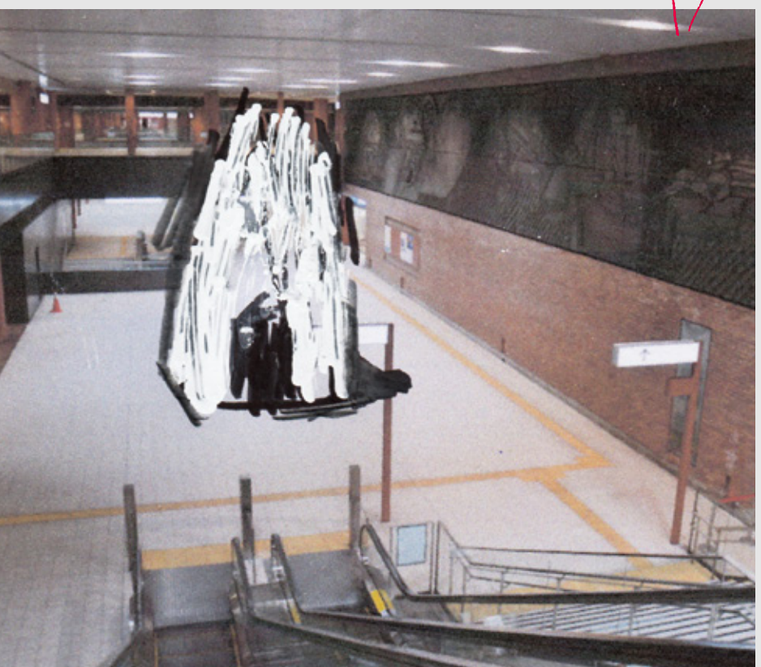
**11:00 – 19:00**

［休場日：毎週木曜 ※10/8を除く］

## BankART Station
## BankART Temporary
## 馬車道駅構内

主催：BankART1929　共催：横浜市文化観光局





BankART Life VI

# 「都市への挿入」川俣 正

## *Insertion into City Life*

## Tadashi KAWAMATA

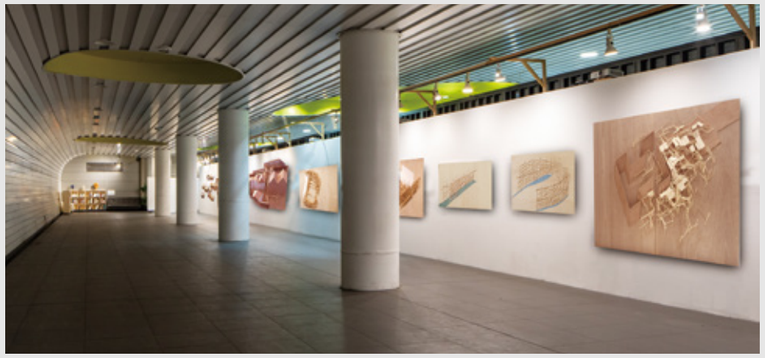
会期｜2020年9月11日［金］～10月11日［日］（休場日：毎週木曜 ※10/8を除く）
時間｜11:00～19:00
会場｜BankART Station、BankART Temporary、馬車道駅構内
料金｜¥1,000（一般）、¥600（大学生、専門学校生、横浜市民/在住）、
無料（障がい者手帖お持ちの方/付添1名・高校生以下・65才以上）

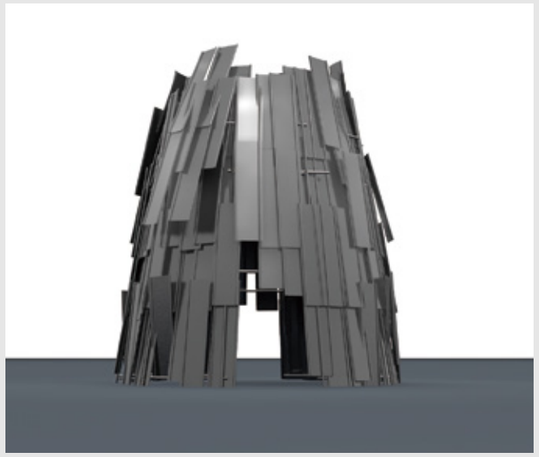
**2020 ヨコハマトリエンナーレ チケット連携**

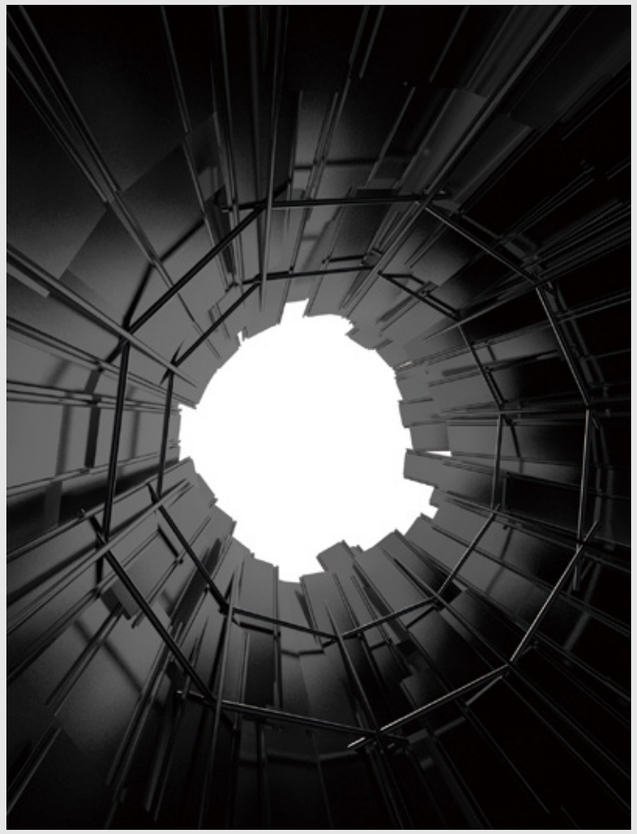
**「BankART Life VI」と「ヨコハマトリエンナーレ2020」「黄金町バザール2020」を一緒に楽しめるお得な「横浜アート巡りチケット」発売！**

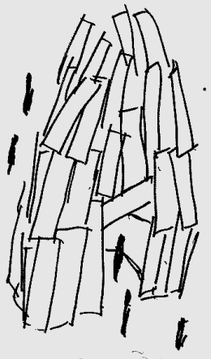
一般¥2,800、大学生・専門学校生¥2,000、
高校生以下BankART・黄金町は無料、ヨコトリ2020は単独¥800（中学生以下無料）
公式Webサイトからも購入できます。

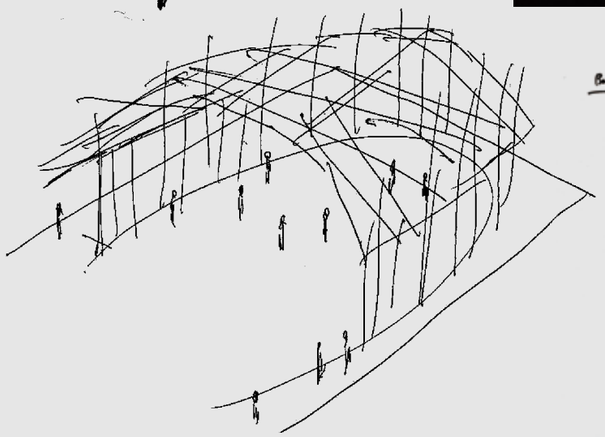
現在、急ピッチで開発が進む、みなとみらい地区。建蔽率を抑え、容積率をボーナスし、数十％の面積を市民へ開放する等のルールが効果を発揮し、市民に開かれ、工夫をこらし美しくデザインされた建築群の街が誕生しつつある。ところが、街全体を見渡すと、この地区を楽しみ、散策するようなネットワークされたルートがないことに気づく。いくつかの軸線は設けられているので、近い将来は展開するかもしれないが、それにしても街としての親密さが感じられない空間が続く。今回、私たちは、こういった場所に建築的な表情をもつアートインスタレーションを挿入することを試みる。インスタレーションの都市への挿入は、プロセスそのものが、見る人がそれまで気づかなかった都市の構造や仕組みをディスクローズしてくれる。「空き地」や「眠っている場所」は役に立たず、生活に関係のない場所だと思われがちだが、そういった場所にこそ、都市の新しい可能性が隠されている。それまで他人の領域には無関心な、ここで働く人、訪れる人が、都市の中に自らの場所を見つけ、都市に住まわされているのではなく、都市に積極的に棲んでいこうとすることを、このプロジェクトから感じることができるはずである。「ヨコハマトリエンナーレ2020」と連動するこのプログラムはトリエンナーレ会場とは徒歩圏内。新高島駅地下1Fに位置するBankART Stationでは、200mに及ぶ壁面に川俣正のこれまで行ってきたプロジェクトのドローイング/レリーフと2012年以降制作した作品の写真群を展示。みなとみらい線新高島駅から2駅の馬車道駅構内とBankART Temporaryの内外には、金属平版を用いた新作のプロジェクトが行われる予定である。
川俣氏は世界中の都市でプロジェクトを行い、常に新しい視線を街になげかけてきた。氏のプログラムを街の中に挿入することで、それに携わった人たちが、各人自ら積極的に都市に関わっていくことを期待したい。

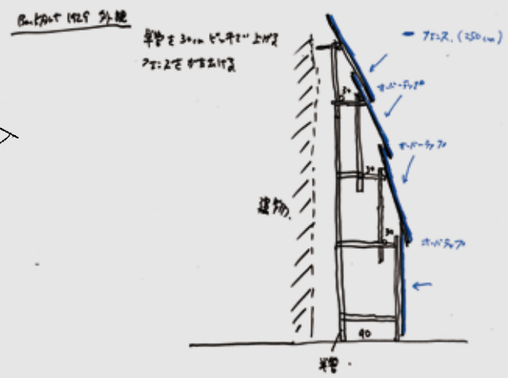












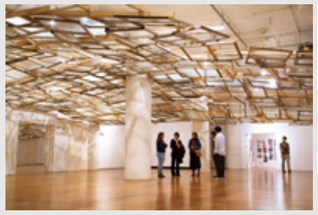

**お問い合わせ**｜**BankART1929 office**
TEL: 045-663-2812
E-mail: info@bankart1929.com


**アクセス**｜
**BankART Station**
（横浜市西区みなとみらい5-1）
みなとみらい線「新高島」駅B1F

**BankART Temporary**
（横浜市中区本町6-50-1）
みなとみらい線「馬車道」駅1b出口直結

**おすすめの巡り方**
**横浜美術館**→（徒歩8分）→**プロット48**→（徒歩7分）→**BankART Station［新高島駅B1F］**→（みなとみらい線乗車時間4分）→**馬車道駅**→**BankART Tenporary**→（ぴおシティ、野毛を通って徒歩15分）→**黄金町バザール2020へ**

《Expand BankART》2012、BankART Studio NYK/横浜



**川俣 正**｜1953年北海道生まれ、フランス在住。主な展覧会・プロジェクトに2010年～13年「川俣正・東京インプログレス」（東京）、1997年「椅子の回廊」（Festival d'automna Paris、サルペトリエール病院サン・ルイ教会、フランス）、1996～99年「ワーキング・プログレス」（アルクマー、オランダ）、1987年「Destroyed Church」（ドクメンタ、カッセル、ドイツ）などがある。著書に『アートレス マイノリティとしての現代美術』（2001年、フィルムアート社）がある。